



日本住を快適空間!

# ダンネット通信

2008.Spring vol.60

発行：株式会社ダンネット 〒070-8045 北海道旭川市忠和5条4丁目9-17 TEL(0166)61-9151・FAX(0166)61-2044

今月のトピックス

## 2008年度住宅施策のポイント

### 200年住宅の普及促進へ

住宅業界にとっては勝負の年になると言われている2008年度が始まったのを機に、今回は国土交通省など関係省庁の予算概要や税制改正（3月26日現在未成立）など2008年度の住宅施策を改めてひと通りチェックしてみましょう。

キーワードは、「200年住宅」「地球温暖化防止」「安心・安全」の3つ。このうち200年住宅では「住宅の長寿命化（200年住宅）促進税制」を創設し、登録免許税を一般住宅の特例よりさらに引き下げ、不動産取得税は控除額を一般住宅特例より100万円多い1,300万円に拡充。さらに固定資産税を2分の1とする減額適用期間も一般住宅特例より2年間長い5年間（マンションは7年間）となる予定です。

200年住宅の内容は今後国会で審議・立法化される見込みで、国交省の予算でも「200年住宅」への取組として、先導的モデル事業に対する支援制度の創設や住宅履歴情報の整備、超長期の住宅ローンの開発など135億円が計上されています。

### 省エネ改修に税制優遇

地球温暖化防止に関しては、国交省が先進的な省CO<sub>2</sub>技術を導入する事業や、中小住宅生産者等の省エネ対策に係る施工能力の向上、消費者へ

の啓発に関する取組等への支援制度を創設。新築住宅の次世代省エネ基準達成率を平成16年度の32%から50%へと引き上げる考え。税制改正でも「住宅に係る省エネ改修促進税制」を創設し、次世代省エネ基準に対応する増改築工事を行った場合、所得税の控除と固定資産税の減額が受けられるようになる見込みです。

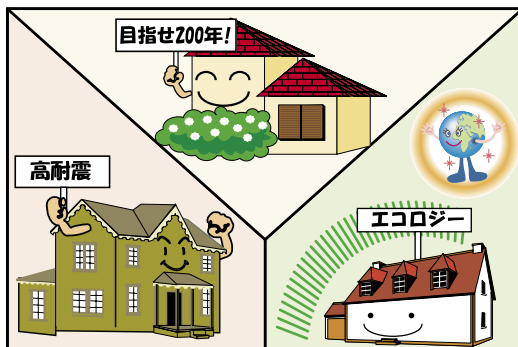
また、環境省では「エコ住宅普及促進事業」として、複数の再生可能エネルギーを導入するモデル事業や、地方自治体との協力により太陽光発電等の再生可能エネルギーを利用した低炭素型住宅の普及支援を実施。経済産業省も「省エネ・新エネ対策の強化」として、家庭部門などで省エネ促進の制度整備等を行う予定です。

### 耐震化への助成も対象条件など拡充

安心・安全の確保については、国交省が住宅・建築物

物の耐震化に係る助成について地域要件や建物要件の緩和・撤廃、助成額の拡充を行うほか、来年10月の「特定住宅瑕疵担保履行確保法」施行へ向けて、住宅保証基金の拡充や保険法人における住宅の検査体制の整備支援等を実施します。

この中でも特に減税措置などはユーザーの購入マインドに大きく関わってくるだけに、しっかり内容を把握し、そのメリットを伝えられるようにすることが大切でしょう。



今年度の住宅政策は「200年住宅」「地球温暖化防止」「安心・安全」がキーワード

特集

# 湿式外装用外貼り断熱パネルの実証棟が完成

地球温暖化などの環境問題が深刻さを増している中、断熱性能の向上による住宅の省エネ化は避けられないのが現状と言えます。しかし、全国的に住宅需要が冷え込んでいることを考えると、断熱性だけでなくデザインや維持管理のしやすさなども含めトータルで住宅の魅力を高めていかなければならないのも事実。(株)ダンネツが開発した湿式仕上げ用プレコーティング外貼り断熱材「SOTOdan パネル」(そとだんパネル)はそのような背景のもとに誕生したパネル製品で、このほど2棟目の実証棟が札幌市内に完成しました。このパネルはドイツ・シュトー社の技術・部材を活用したもので、実証棟ではシュトー製品の施工研修も実施。今後は室内環境の測定・検証も実施する予定です。

## 工場でEPSに外装下地を施工

「SOTOdan パネル」は湿式外断熱外装システムである「シュトー サーモ クラシック」の技術・部材を活用したパネル製品。木造住宅の新築・リフォームで湿式外装のテクスチャーと付加断熱を、容易な施工とリーズナブルなコストで実現する製品として開発されたものです。

あらかじめ3×6尺サイズ・50mm厚で高い透湿性を有するEPS断熱材(ビーズ法ポリスチレンフォーム)に、グラスファイバーメッシュと仕上げ塗装用の補強下地層であるベースコートが工場で施工されており、現場ではビスと専用ワッシャーを使って柱・間柱に固定。ジョイント部分はグラスファイバーメッシュとベースコートで補強し、ワッシャー部分のへこみもベースコートでフラットに均します。

仕上げはベースコートの上からアクリル樹脂プラスターのトップコートを直塗り。断熱材、ベースコート、トップコートのいずれも高い透湿性があるため通気層は不要で、従来の左官仕上げと同

様に多彩なテクスチャーを施すことが可能です。

今回施工した住宅は、昨年施工した平屋建ての住宅に続いて北海道で2棟目の実証棟。約37坪の在来木造2階建てで、断熱仕様は基礎がかんたんベース(外側EPS 65mm+内側同65mm)、天井はブローイング300mm、窓はプラスチックサッシLow-Eペアガラス。外壁は軸組室外側に無機質素材の耐力面材を貼り、軸間に立方体状のグラスウール(キュービックブローエース)を乾式で吹き込んでから、防湿気密フィルムと石膏ボードを室内側から施工。室外側は耐力面材の上に透湿防風シートを貼ってからSOTOdanパネルを施工し、トップコートで仕上げました。

## 実行価格は窯業系外装材と同等

この実証棟でSOTOdanパネルの施工状況を検証したところ、外壁面積約191㎡に対し、使用したパネルは129枚。1㎡あたり4,000円弱の計算です。このほかパネルを留めるビス・ワッシャーと、ジョイント部分の処理に必要なベースコート・グラスファイバーメッシュなどの副資材が

1,300円/㎡、トップコートが1,790円/㎡で、材料コストは合計約7,000円/㎡となりました。このほか労務費として、パネル施工が6.5人工で13万円(2万円/人工)、ジョイント補強等が3人工で5万4,000円(1万8,000円/人工)、トップコート仕上げが8人工で14万4,000円(同)。労務費の合計は㎡あたり1,710円となり、材料費と合わせると9,000円弱/㎡となります。

## 付加断熱と塗り壁仕上げを同時に実現

軸間100mm断熱で普及タイプの窯業系サイディング仕上げとする一般的な住宅と比べた場合、室内側の内装下地となる石膏ボードから軸組外側の耐力面材までは同じ構成ですが、その後、一般的な住宅では透湿防風シートを貼って通気層を取り、サイディング仕上げ。SOTOdanパネルも、透湿防水シートを貼ってからパネルを固定し、ジョイント処理した後にトップコート仕上げと、工程的にはほとんど変わらないものの、外壁断熱厚は150mmとなり次世代省エネ基準をクリア。さらに塗り壁による個性的な外装仕上げも実現できるというメリットがあります。

また、耐久性の面でも窯業系サイディングは定期的な塗り替えや交換・更新が必要となるのに対し、SOTOdanパネルは優れた耐衝撃性や耐クラック性などによってメンテナンスはほとんど不要。価格面でも品質が良い窯業系サイディングであれば材工で7,000~8,000円はするため、通気胴縁の施工手間も含めて考えると、SOTOdan

パネルとの価格差はほとんどないと言えます。

## 施工研修で43名が仕上げなど行う

この実証棟は、ダンネツが取り扱っている「シュトー サーモ クラシック」の施工を行う左官職人の研修にも使用。3月15日に行われた第4回目の施工研修には43名の職人が参加し、現場近くの研修センターで技術的な知識を学んだ後、実証棟でベースコートとグラスファイバーメッシュを使ったジョイント処理や、トップコートによる仕上げを実施。その後、参加した職人それぞれが施工研修修了証を手に入れました。

なお、この実証棟では各部屋の天井のクロスの上から、室内光だけで光触媒作用が働いて半永久的に空気中の有害化学物質や臭気を分解・除去する内装塗料「シュトクリマサン カラー」を施工しているのも大きなポイント。今後、熱損失係数(Q値)計算や温熱環境の測定とともに、室内空気環境がどれくらい改善されるのかという点についても調べる予定です。

ダンネツ外断熱事業部では「木造住宅の付加断熱用商品として市場に参入したいと考えています。省エネに対する意識が高まっている中、外断熱だけでは断熱厚を増すにも限界がありますが、このパネルを使い軸間断熱プラス付加断熱とすれば、北海道でも次世代省エネ基準をクリアでき、CO<sub>2</sub>の削減にも寄与できます。増改築にも対応できるので、サイディングの張り替え時に採用するのもいいアイデアになります」と話しています。



落ち着いたカラーとテクスチャーで仕上げた実証棟の外観



SOTOdanパネルをビスとワッシャーで留めているところ。3×6尺サイズを横使いで千鳥状に施工していく

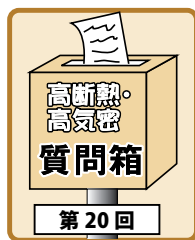


実証棟で行われた施工研修では、43名の職人が実際にベースコートやトップコートの施工を行った



シュトクリマサン カラーを施工した室内。照明の光でも光触媒作用を発揮し、有害化学物質などを分解・除去する





## 室内の過乾燥対策に お勧めの加湿器は？

Q…高断熱・高気密住宅では、冬場に室内の湿度が30%を切ることも多いため、お客様に加湿器を使ってもらおうこと

も考えているのですが、どんな製品がいいのでしょうか？

A…高断熱・高気密住宅で冬場に室内が過乾燥状態になるのは、24時間換気によって湿度の低い外気を常に給気していることが大きな原因。この乾燥感を防ぐ一番簡単かつ効果的なのが加湿器の利用ですが、加湿方法によって①気化式②ヒーター式③超音波式一の3つのタイプがあり、それぞれ特徴があります。このうち、住宅関係者や学識経験者からの評価が高いのが気化式です。

気化式は水分が自然に蒸発する気化原理を利用したもので、乾いた空気を水を含ませたフィルターに通し、湿度を持たせて室内にファンで送風するという単純な仕組み。乾燥度合に応じて必要なだけ水を気体にして放出するので、自然に室内の空気を加湿することができ、消費電力も少ないのがメリットです。乾燥空気がフィルターを通る時



スイス製の気化式加湿器・ポネコ。家電量販店などで購入できる

に、ホコリやウイルス、花粉などが吸着されるので、空気清浄機の役目も果たしてくれます。一方、加湿速度が遅いため、長時間の連続運転が必要。送風ファンの音が耳につくこともあるほか、フィルターなどの定期的な清掃・交換も必要です。

### ダンネツ通信発行に関するお知らせ

平素はダンネツ通信をご愛読して頂き、誠にありがとうございます。

さて、これまで隔月で皆様にお届けしてきたダンネツ通信ですが、誠に勝手ながら今年から季刊として春・夏・秋・冬の年4回発行とさせていただきますことになりました。

これからもより皆様のお役に立つ情報を充実させていきたいと考えていますので、今後とも変わらぬご支援ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### ●編集●後●記●

◆道内大手スーパーが環境問題取り組みの一環として、レジ袋の有料化を進めています。6月に札幌東急ストア、今夏にイオン北海道が始まるそうですが、皆さんもそろそろお気に入りマイバックを準備してはいかがですか？（野村）

◆今年の住宅着工は、基準法改正の混乱が落ち着きつつの増えるという人もいれば、年金問題など社会不安を理由にさらに少なくなるという人もいます。いずれにしても確認のゴタゴタだけはもう勘弁してほしいものです。（水越）



株式会社ダンネツ

ホームページURL <http://www.dan-netso.co.jp/>  
E-mailアドレス [info@dan-netso.co.jp](mailto:info@dan-netso.co.jp)

「快適な住まいづくり」はお任せ下さい！

●フローイング工事各種 ●外断熱工事 ●気密工事  
●ウレタン吹付工事 ●断熱建材製造販売 ●住宅性能診断

■本 社	〒070-8045 旭川市忠和5条4丁目9-17	TEL(0166)61-9151 FAX(0166)61-2044
■旭川第一工場	〒071-1248 上川郡鷹栖町8線西2号	TEL(0166)87-4442 FAX(0166)87-4888
■旭川第二工場	〒070-0014 旭川市新星町514番地1	TEL(0166)21-7080 FAX(0166)21-7080
■札幌支店	〒003-0869 札幌市白石区川下2127番地4	TEL(011)875-3966 FAX(011)875-3971
■Sto事業部	〒003-0869 札幌市白石区川下2127番地4	TEL(011)875-3969 FAX(011)875-3971
■ウレタン事業部札幌事務所	〒003-0869 札幌市白石区川下2127番地4	TEL(011)875-3972 FAX(011)875-3974
■旭川支店	〒070-8045 旭川市忠和5条4丁目9-17	TEL(0166)62-7575 FAX(0166)61-1715
■帯広支店	〒080-2460 帯広市西20条北2丁目27-10	TEL(0155)41-4101 FAX(0155)41-4105
■釧路支店	〒088-0621 釧路郡釧路町桂木5丁目15	TEL(0154)36-1790 FAX(0154)36-1844
■北見支店	〒099-0878 北見市東相内町174番地16	TEL(0157)36-3557 FAX(0157)36-3433
■北関東支店	〒362-0047 埼玉県上尾市今泉1丁目27-4	TEL(048)783-1666 FAX(048)783-1667
■千葉支店	〒262-0011 千葉県千葉市花見川区三角町16番2	TEL(043)258-4065 FAX(043)258-4025
■宇都宮支店	〒321-0932 栃木県宇都宮市平松本町362-6	TEL(028)636-1266 FAX(028)636-2675
■平塚支店	〒254-0018 神奈川県平塚市東真土4丁目2-69	TEL(0463)54-6484 FAX(0463)54-2430
■水戸支店	〒311-3116 茨城県東茨城郡茨城町長岡3660-15	TEL(029)291-1822 FAX(029)291-1825
■ウレタン事業部東京支店	〒351-0002 埼玉県朝霞市下内間木301番地	TEL(048)458-1455 FAX(048)456-3877
■ダンネツ信州	〒399-0033 長野県松本市大字笹賀5130-1	TEL(0263)26-0811 FAX(0263)26-1016